

山岳環境研究室

教員 奈良間千之



研究テーマ：

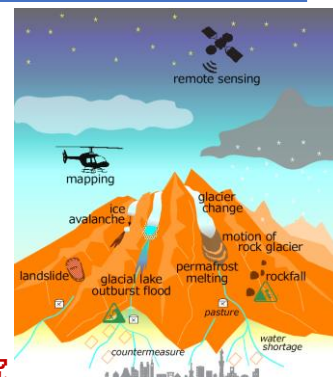
山研HP <https://narama-lab.github.io/home/>

- ✓ **アジア山岳地域（天山山脈やヒマラヤ山脈）**における氷河や山岳永久凍土の変動や空間分布、氷河崩落、氷河湖決壊洪水、凍土融解による地すべりなどの山地災害に関する研究
- ✓ **日本の中部山岳や新潟県の山地**における地すべり・崩落・落石、雪渓崩落、氷河特性、地形形成プロセスに関する研究

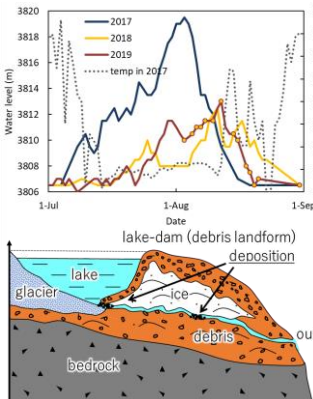
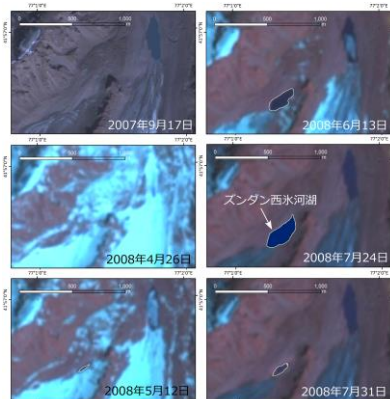


研究概要（こんな研究ができます）：

山岳環境研究室（山研）では、アジア山岳地域の**天山山脈**、**ラダック地域**、**ヒマラヤ東部**、**日本の中部山岳**を中心に、**アフリカ東部のケニア山とキリマンジャロ**、**南極**を含めた世界の極地や山岳地域で活動しています。**フィールドワーク（現地観測）**、**GIS（地理情報システム）**、**リモートセンシング（衛星画像解析）**の手法を用いて、山岳氷河や山岳永久凍土の雪氷圏変動や、氷河湖決壊洪水や斜面崩壊（落石や崩落）の地形災害など、山岳地域で現在起きている事象のプロセスや要因について研究しています。また、研究成果を地域住民に還元する**アウトリーチ活動**にも積極的に取り組んでいます。



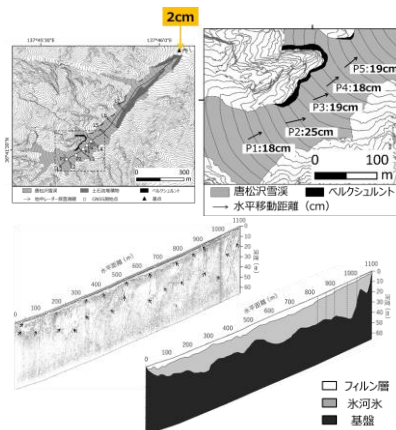
✓ 中央アジア・ラダック山脈における、短命氷河湖の出現と出水に関する研究



中央アジアのキルギスに位置する天山山脈では、わずか数カ月～2週間で出現・出水する短命氷河湖の出水で生じる土石流により、犠牲者を伴う災害が発生しています。当研究室では、世界ではじめてその実態や形成過程を報告しています。2015年に地元住民を対象とした氷河湖ワークショップを開催したり、キルギス緊急対策省と共同で氷河湖モニタリングに取り組んでいます。

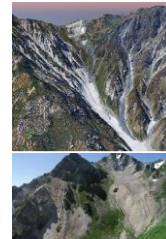
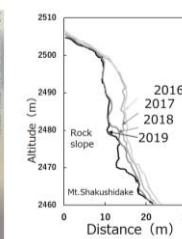
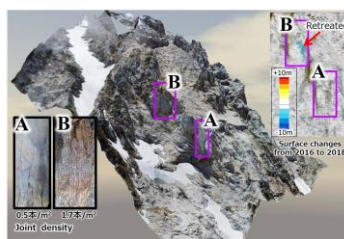


✓ 中部山岳における氷河研究



2018年に白馬村のサポートにより、新潟大、立山カルデラ砂防博物館、白馬山案内人組合で氷河調査団が結成され、現地調査により唐松沢雪渓は七つ目の氷河と確認されました。現在、長野県と白馬村のサポートを受け白馬連山氷河調査団が結成され、白馬村にある他の雪渓が氷河であるかを調べています。

✓ 中部山岳における落石と岩盤崩落に関する研究



年間1万人の登山者が通過する白馬大雪渓では、毎年のように落石や崩落などで登山事故が起きています。研究室では、大雪渓の両岩壁から生じる落石や崩落、雪渓崩落に関する調査をおこなっています。

得られる知識や関わる資格：

- ✓（得られる資格や技術）GIS学術士、応用地形判読士、GISや画像解析技術、地形の見方、研究の進め方、フィールド技術

卒業生の就職先：ほとんどの学生が大学院に進学し、研究で得たスキルを使う仕事に就いています。

- ✓ リモートセンシング技術センター（RESTEC）、朝日航洋、国際航業、アジア航測、パスコ、Esri Japanなど

高校生に一言：

- ✓ 関心のある国内外のフィールドで観察・観測・測量で得た自分だけのオリジナルデータを使って、いま山岳環境で起きている現象を解明しよう。そして、その知見を活かした減災政策を実現させよう！
- ✓ フィールド研究活動を通して自身の経験値を高めよう！